

敵基地攻撃能力の保有 5年間で43兆円の軍事費 **大軍拡ストップ!**

## 岸田自公政権に審判を下し

# 子育て・くらし・老後に希望を

大軍拡・大增税を許さず、物価高騰からくらしと福祉、営業を守り、希望ある県政の実現をめざします。東日本大震災津波からの教訓を生かし、県民の願いに寄り添い、県民を大切にする県政を実現します。

### ～斉藤信は提案します～

- **物価高騰から県民のくらしと営業を守ります**  
▶ 低所得者・子育て世帯への支援 ▶ 中小企業への支援 ▶ 農業・酪農危機打開への支援を強化します ▶ 消費税の減税と賃上げをめざします
- **高すぎる国保税の引き下げ**  
▶ 子どもの均等割の免除をめざします ▶ 協会けんぽなみに引き下げます
- **子育て支援「3つのゼロ」の実現を**  
▶ 子どもの医療費完全無料化 ▶ 保育料の無償化 ▶ 学校給食の無償化
- **高齢者を大切にする「3つの安心」を**  
▶ 年金で入れる特養ホームの増床と待機者の解消 ▶ 加齢性難聴者の補聴器購入補助 ▶ 物価上昇に見合う年金の引き上げ
- **新型コロナから命と健康を守る**  
▶ 公的助成の削減・廃止に反対 ▶ 無料の検査、病床の確保 ▶ 高齢者施設のクラスター対策を強化します
- **いじめ・不登校・暴力のないゆきとどいた教育を**
- **気候危機打開、ジェンダー平等社会の実現へ**  
▶ 県有施設への太陽光発電の導入を推進 ▶ 省エネルギーフォームへの補助 ▶ 省エネ家電の普及促進を求めます ▶ ごみ処理広域化計画の見直し  
▶ 男女賃金格差の是正などあらゆる分野で取り組みを強化します
- **議会改革に取り組みます**  
▶ 議会の発言規制の撤廃 ▶ 議会棟の喫煙室の廃止 ▶ 海外視察の見直しを求めます

## 5人の盛岡市議団と力を合わせがんばります



庄子春治 高橋和夫 三田村あみこ かんべ伸也 鈴木つとむ



県議会議員

# 斉藤信

しん

日本共産党

戦争か、平和か—日本の進路が大きく問われています。岸田政権は「専守防衛」を投げ捨て、大軍拡に突き進んでいます。岸田自公政権に審判を下し、憲法、平和、くらしを守ります。「県民の願いで県政を動かす」を信条に、県民の幸福を大切に、くらしと福祉、営業を守る達増県政をさらに前に進めるために全力を挙げます。

【略歴】1951年母の実家盛岡市住吉町で生まれる。大船渡高校卒、岩手大学工学部卒。

県議7期、党副委員長。県原水協代表理事、復興県議会常任世話人、岩手大学工学部一祐会理事、盛岡山車推進会顧問、防災士、趣味は卓球（インターハイ出場）

くらし最優先・達増県政をさらに前に

新もりおか

2023年5・6月号外 斉藤信の活動と政策をお知らせします。  
発行：日本共産党盛岡地区委員会 盛岡市本町通2-3-6 TEL: 019-661-1141

# 県民の願いと結んだ論戦で 県政を動かす

議会質問  
42回/年

## 物価高騰 対策

### 全国に先駆けて物価高騰対策を実施

- 子育て世帯に対し2度にわたる臨時給付金を支給 — 46億円
- 中小企業への支援 — 70億円(21年度)、20億円(22年度)
- 医療・福祉施設への物価対策支援金 — 9.5億円
- 農業・酪農、水産業への支援金
- 全県で福祉灯油を実施  
5000円(21年度)、6000円(22年度)



達増知事に物価高騰から県民の暮らしと営業を守る緊急対策を申し入れ(4月14日)

## 子育て支援 福祉・医療

### 全国トップクラスの子育て支援策

- 子どもの医療費 — 高校生まで窓口無料に(8月から)
- 第2子以降の保育料無償化、在宅育児に月1万円
- 子どもの国保税(均等割) — 就学前は半額に減免
- 産後ケアの無償化、不妊治療支援で交通費補助拡充
- 大学進学めざす高校生に15万円の奨学金

## 新型 コロナ

### 県立病院のネットワークで対応

- 無料のPCR検査を実現(~23年3月末)、高齢者施設等で定期的検査を実施
- 県立病院のネットワークで入院患者の7割を対応
- 希望者のワクチン接種を促進。接種率は全国平均を14%上回る
- 後遺症対策 — 専門外来、専門相談窓口の対応を求める



盛岡市立病院の加藤院長から話を聞く

## 全国に誇れる復興 被災者の生活再建を支援

- 被災者の医療費免除を11年継続実施
- 心のケアの取り組みを継続
- 被災者支援センターで生活再建を支援 — 弁護士を含め相談2100回以上
- 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震・津波対策の強化を求める

「被災者一人ひとりの幸福追求権を保障する」達増県政の下で、県民運動と結び医療費免除は10年間、非課税世帯には11年目も実施。全国に誇れる取り組みでした。



斉藤信

28年間続けている県公会堂前での毎週月曜日の早朝宣伝

## 気候危機 打開

### 国の目標(46%)を大きく上回る57%の 温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)削減めざす

地球温暖化で海でも陸でも異変が起きています。思い切った省エネと再エネの取り組みを求め、県の地球温暖化対策実行計画の改定で57%削減の計画が決まりました。

## ジェンダー平等

- 県がパートナーシップ制度の指針を作成
- 学校トイレに生理用品を配備 — 県立学校は68%

## 議会改革

- 全国で岩手だけ — 発言規制の撤廃を求める
- 議会棟の喫煙室の廃止を求める — 東北では岩手のみ
- 自民党と統一協会の癒着の徹底解明を

1年間の県議会(本会議、予算・決算特別委員会)での質問・発言回数は42回でダントツです(県議1人当たり平均7回)。県民の願いを踏まえた建設的提案で県政を動かしてきました。

マスコミのアンケートで、自民党県議6人が統一協会と何らかの関係があったことが明らかになっています。癒着の徹底解明は県政の重要な課題です。



統一協会と県議会議員の癒着の徹底解明を求める申し入れ(22年9月20日)